



第4回 開催結果報告

高田松原津波復興祈念公園 市民協働ワークショップ ～協働の取り組みをはじめよう！～ 平成 29 年 11 月 22 日開催



県では、東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市高田松原地区において、国や陸前高田市と連携しながら、高田松原津波復興祈念公園の整備を進めています。平成 27 年 10 月から、次のような目的で「市民協働ワークショップ」を開催し、陸前高田市民をはじめとした幅広い世代の方々にご参加いただき、意見交換を行ってきました。

- ① 祈念公園に対して興味と関心を持ってもらう
- ② 公園計画への意見を出し合う
- ③ 将来の公園の利活用や管理運営に参加・協力してくれる人を募集する
- ④ 将来の公園の管理運営体制づくりに向けて、現時点から可能な取り組みを検討する

この度、「高田松原津波復興祈念公園 市民協働ワークショップ（第 4 回）～協働の取り組みをはじめよう！～」を開催し、ご参加いただいた 27 名の方々に活発な意見交換を行いました。

■ワークショップの内容

1 <全体説明>



これまでの市民協働ワークショップの結果概要、本公園の設計や工事の状況と今後の予定、管理・運営方針の概要等について説明を行いました。

2 <班別意見交換>



4つの班に分かれて、各班2つのテーマについて、意見交換をしました。

3 <意見発表>



最後に、各班で出された主な意見の発表を行い、議論の内容を全員で共有しました。主な意見は次ページのとおりです。

開催日：平成 29 年 11 月 22 日（水）
開催時間：18 時 30 分から 21 時
開催場所：陸前高田市役所 4 号棟 3 階第 6 会議室
参加人数：27 名



<意見交換のテーマ>

- 【テーマ1】「グループ」について
新たに募集を開始する市民協働で公園の管理・運営に参加してくれる「グループ」の仕組み等について
- 【テーマ2】「すぐ始められる取組み」について
参加者自らが作ってみたい、参加してみたい、あったら良いと考えるグループ等について



■第4回ワークショップ 参加者の皆さんからの主な意見

テーマ1:「グループ」について

<グループの位置づけや仕組み>

- グループ設置の目的を明確にしてほしい
- グループに期待される役割を明確にしてほしい
- 公園管理者（国、県、市）と市民協働（グループ）の役割分担の“見える化”が必要
- グループに登録することのメリットをわかりやすく示してほしい
- グループの代表者が参加する会議の位置付けを明確にしてほしい
- 個人単位やグループ登録者外であっても様々な活動に参加できる仕組みを考えてほしい

<グループの募集>

- グループに人を集めるしくみを考えることが必要
- 市民等の自主的な活動を促すために、グループ活動の広報や新たなグループ募集を継続的に行ってほしい

<グループの運営>

- グループ間の活動の調整役を担う人が必要

<グループの活動内容>

- グループ活動として公園内で物販や営利活動をさせてほしい
- 収益と楽しみのあるグループ活動にしたい
- グループの活動費用を補助してほしい
- グループでの活動成果に対して何らかの報償（例：公園内施設の利用優遇）があるとよい

テーマ2:「すぐ始められる取組み」について

<交流・被災地観光>

- 訪れた人の行動パターンや施設の使われ方を検討するグループ
- 公園・伝承施設・市街地等を一体的に巡るモデルコースを検討・提供するグループ
- 公園、市街地が一体となった防災教育の拠点化、あわせて集客・回遊性の向上に取り組むグループ
- 高田を訪れた観光客と公園をつなぐ窓口や観光客に対するリスクの周知、対外的な広報・宣伝等を担うグループ
- 震災遺構、浄土庭園、三陸ジオパーク、国立公園など公園内外の魅力を紹介する語り部グループ

<スポーツ・レクリエーション>

- 運動施設（サッカー場）などを活発に利用しつつ、維持管理にも協力するグループ
- 公園の自然を活かした、子供達のアウトドア活動（キャンプ、サバイバル等）を提供するグループ
- マラソン大会などのスポーツイベントを運営するグループ
- 海水浴場を管理する海の家グループ

<教訓の伝承・防災教育>

- “語り部”として来訪者に津波の教訓とリスクを伝承するとともに、公園管理者（行政）に対して安全対策や危機意識を喚起するグループ
- 震災の記憶の継承と、体験型の防災教育を行うグループ
- 伝承施設等で市民が展示やイベントを企画・実施するグループ
- 防災教育の一環として、パンフレット（修学旅行、一般観光用）を地元の小中学校生と作るグループ
- 企業の作る防災設備、グッズを展示・体験・販売するグループ（公園を防災商品のショールームに活用）
- 震災復興のプロセスを見える化して伝えるグループ

<植栽・自然再生>

- 名勝高田松原の再生（植樹、育成）に取り組むグループ
- 自然観察会や生き物のモニタリング、さらにはラムサール登録湿地を目指して湿地を保全するグループ

<リスクの軽減>

- 避難訓練を運営するグループ
- 園内の避難誘導等のサインを考えるグループ

<ノーマライゼーション>

- ノーマライゼーションの視点からのリスク軽減、意識啓発に取り組むグループ
- ノーマライゼーションの視点から、障害者スポーツなど誰もが楽しめる公園づくりを推進するグループ

<協働による活動の推進・活性化>

- 高田松原の植栽や育成、清掃など、多くの協力が必要な様々な活動に参加するグループ（学校、自治会、企業等）
- 草刈りや見守りなど、公園の維持管理を協働で行うグループ
- 既存の組織や取組みを活かしたグループ（体育協会、七夕の祭組、学校、消防団、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、青年会議所など）